

## 平成27年度労災病院間医療安全相互チェック実施結果

グループ	実施時期等	テーマ及びチェック方法等
道央 道央せき損 釧路	1回目 11月 釧路 → 道央	テーマ 抗がん剤の安全な使用及び暴露防止
	2回目 11月 道央 → 道央せき損	・抗がん剤が安全に取り扱われているか確認を行った。
	3回目 11月 道央せき損 → 釧路	・暴露防止対策が適切に実施されているか確認を行った。 ・作成したチェックリストを基に、聞き取り調査とマニュアルの検証を行った。
青森 東北 秋田	1回目 11月 秋田 → 青森	テーマ 食物・薬剤等アレルギー対策
	2回目 11月 東北 → 青森	・患者のアレルギー等の情報の範囲について確認を行った。
	3回目 11月 青森 → 東北	・職員間で共有するシステムについて確認を行った。 ・患者への教育(提供する情報の内容や方法)について確認を行った。 以上にポイントを置き、各部門をラウンドしてチェック表を基に聞き取り評価を行った。
福島 鹿島 千葉	1回目 12月 福島 → 鹿島	テーマ ①指示出し・指示受けから実施・記録までのプロセス
	2回目 28.1月 千葉 → 福島	②麻薬・毒薬・向精神薬の管理
	3回目 28.1月 鹿島 → 千葉	・現場をラウンドし実際を確認した。聞き取り調査でチェックを行った。
東京 関東 横浜	1回目 11月 東京 → 横浜	テーマ 患者誤認防止について
	2回目 11月 横浜 → 関東	・看護部、中央放射線部、中央検査部、中央リハビリテーション部、事務部門、薬剤部について患者誤認防止対策のマニュアル遵守状況を作成したチェックリストを基に聞き取り調査を行った。
	3回目 12月 関東 → 東京	・患者の医療安全への積極的な参加状況について、口頭で確認した。
燕 新潟 富山	1回目 11月 新潟 → 富山	テーマ 患者急変時の対応
	2回目 11月 燕 → 新潟	・前年度までの他施設で使用したチェック表を基にチェック表を作成し、各病院の体制、教育等の確認を行った。
	3回目 11月 富山 → 燕	
浜松 中部 旭	1回目 10月 中部 → 浜松	テーマ 食物・薬剤等アレルギー対策について
	2回目 11月 浜松 → 旭	・前年度までの他施設で使用したチェック表を基にチェック表を作成し、各病院の体制、教育等の確認を行った。
	3回目 12月 旭 → 中部	
大阪 神戸	1回目 12月 和歌山 → 神戸	テーマ 向精神薬の管理について
	2回目 28.1月 神戸 → 和歌山	・薬剤部、手術室、病棟における向精神薬の管理について、保管、管理、実施方法について相互にチェックを行った。
関西 和歌山	1回目 28.1月 関西 → 大阪	テーマ 向精神薬の管理について
	2回目 28.1月 大阪 → 関西	・薬剤部、手術室、病棟における向精神薬の管理について、保管、管理、実施方法について相互にチェックを行った。
山陰 中国 医療リハ	1回目 10月 山陰 → 医療リハ	テーマ 管理薬剤の安全管理
	2回目 10月 中国 → 山陰	・処方～使用～返却までの流れの中で、安全管理への取組についてチェックリストを基に確認した。
	3回目 11月 医療リハ → 中国	・麻薬、毒薬、劇薬、向精神薬の管理、事故防止対策状況、患者・家族の参画状況、職員教育等について病棟、薬剤部、手術室をラウンドし聞き取り調査、カルテの閲覧による評価を行った。
岡山 香川 愛媛	1回目 12月 岡山 → 香川	テーマ 麻薬・毒薬(筋弛緩剤)・向精神薬の管理・運用について
	2回目 28.1月 愛媛 → 岡山	・薬剤部、病棟、手術室、ICU、外来、放射線部など現場をラウンドし、聞き取り調査で確認した。
	3回目 28.2月 香川 → 愛媛	
山口 九州 門司	1回目 12月 九州 → 門司	テーマ 持参薬・管理薬剤(麻薬、毒薬、向精神薬)の適正管理について
	2回目 28.1月 門司 → 山口	・テーマに沿ったチェックリストを作成し、各部署をラウンドし実際の管理状況の確認を行った。
	3回目 28.1月 山口 → 九州	・患者の医療安全への積極的な参加について確認
長崎 熊本 せき損	1回目 10月 せき損 → 長崎	テーマ 医療機器(ME機器)の安全管理
	2回目 12月 長崎 → 熊本	・テーマに沿ったチェックリストを作成し、事前にチェックを行い、改善点について事前に提出。
	3回目 28.2月 熊本 → せき損	・指摘された改善点について、改善部分の発表と現場での訪問チェックを行った。